



国大協企画第63号
平成23年7月4日

民主党幹事長 岡田克也 殿

一般社団法人 国立大学協会
会長 濱田純一

平成24年度国立大学関係予算の確保・充実について（要望）

我が国は、長期にわたる経済の停滞や財政構造の悪化、少子高齢化の進行に加え、東日本大震災からの復興という極めて厳しい状況にあります。これらを克服するためには、安全で安心な社会を構築し、社会のあらゆる分野において知の継続的な革新を図り、次世代を担う卓越した人材の育成を計画的に遂行できる国立大学の役割と機能の強化が不可欠です。

今、わが国の再生と持続的発展を実現するために、各国立大学は、その個性と特色を最大限に活かし、不退転の覚悟と決意をもって自らの役割を果たすことに邁進するとともに、相互に連携協力しながら、国立大学が一つの「有機的な連携共同システム」として総力を結集して、日本の希望ある未来と世界の人々が希求する安定的で持続的な社会の構築を導く原動力として、教育研究機能の抜本的な強化を実現する覚悟です。

つきましては、平成24年度予算編成に向けて、国立大学の機能強化を実現するため、特に下記の事項について、各段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

要望事項

- 国立大学法人運営費交付金の拡充
- 教育費負担の軽減（授業料等標準額の減額及び減免措置の拡大等）
- 国立大学附属病院の経営に対する財政的支援の拡充
- 教育研究の基盤となる施設・設備の整備（国立大学法人等施設整備費）
- 科学研究費補助金の拡充（基金化の拡充、間接経費の措置）
- 国際的に開かれた大学づくりに資する予算の拡充